


奈良県社協ホームページ
<https://www.nara-shakyo.jp/>

奈良ボランティアネット
<https://www.naravn.jp/>

 奈良県社会福祉協議会 広報紙

ふれあいネットワーク

奈良県

福祉だより



2024

No.565

CONTENTS

P 2-3 【特集】 インタビュー
この人に逢いたい! 聞きたい! 話したい!
「ほっと・はーと・なら」
子どもたちへ安心を

一般社団法人 ハート レスキュー Heart resQ
おの うえ つばさ
尾上 翼 さん



P 4-5
令和5年度
奈良県社会福祉協議会
事業報告概要

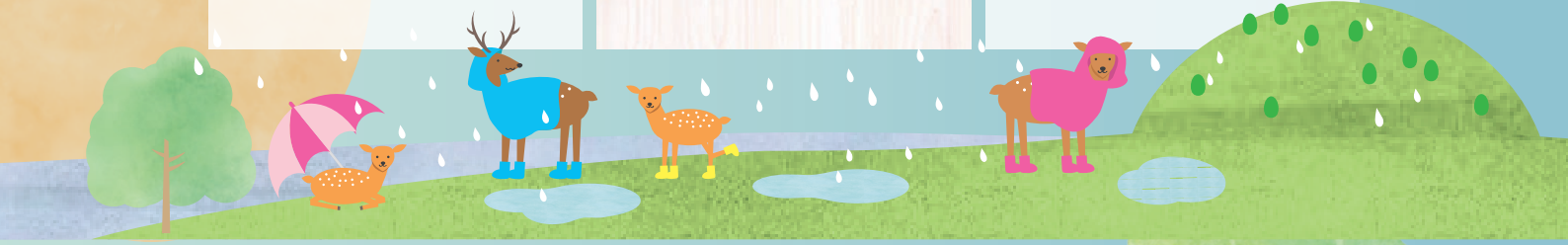
P 6-7
令和6~8年度
奈良県社会福祉協議会
アクションプラン
第8次「活動推進計画」を
策定しました。

P 8-9
福祉人材ニュース
「あなたの街で就職フェア」
を開催します!
○地域別福祉の就職フェア・
大和郡山7/6 7/7
○子育ての仕事就職フェア・橿原8/31
奈良県運営適正化委員会
次期選考委員候補者
の公示について

P10 情報
赤い羽根共同募金
令和5年度共同募金運動に
ご協力ありがとうございました。
奈良県共同募金会の取り組み

P11
令和6年
能登半島地震被災地への
本会災害派遣活動

P12
令和5年度
奈良県社会福祉協議会
賛助会員報告
奈良県中央善意銀行へ
ご寄付・ご寄贈
ありがとうございました。



子どもたちへ安心を

一般社団法人 ハート レスキュー Heart resQ

この人に逢いたい！聞きたい！話したい！「ほっと・はーと・なら」

奈良に縁のある多彩な分野で活躍されている方々にスポットをあて、活動への熱い思いと「福祉(幸せ)」についてお話を伺うこの特集。

今回は子どもたちが安心して過ごせる社会を実現するために児童虐待防止・予防活動に取り組んでいる一般社団法人 ハート レスキュー Heart resQ 代表の尾上翼さんにお話を伺いました！



畿央大学 幼児教育コース在学中に社会的養護の授業で児童虐待について知る。その後児童養護施設でアルバイトをし、子どもたちを虐待から守る活動がしたいと思い、児童虐待防止学生団体「ひろしの会」を立ち上げる。

2023年に「児童虐待発生件数を0ゼロにすること」を理念に、子どもたちが安心して過ごせる社会の実現のためにクラウドファンディングで資金を調達し、学生団体を法人化。ハート レスキュー Heart resQ が誕生。児童虐待発生件数0ゼロ社会の実現のために活動中。

ハート レスキュー 一般社団法人 Heart resQ
代表 おのうえ つばさ 尾上 翼 さん

ホームページはこちら →



活動内容の紹介

児童虐待予防教育の推進

児童虐待予防教育とは？

児童本人が他児童との極端な日常生活の違和感に気付くことや、自分自身の心の状態へ自己覚知を促す教育です。小学校1年～6年生までが対象で「児童虐待」というデリケートな問題に対して恐怖心を植え付けずに“自分の身を守る教育”として伝えていきます。

今後、県内でこの教育が広まるように、協議会や、講演会などに呼んでいただいています。



居場所づくり



奈良県大和高田市「りっぶキッチン」にてプログラミング教室を通した子どもたちの居場所づくりをしています。

オンラインコミュニティの運営

児童虐待防止オンラインコミュニティ運営「ぐっどハートの輪」では今までになかった児童虐待防止活動者の横つながりができるコミュニティを作っています。「児童虐待をなくしたい！」と同じ思いを持つ方同士が会うことで、今後の児童虐待防止活動を続けやすい環境を創造しています。

Q 児童虐待発生件数を0ゼロにするための取り組みで大切にされていることは、何ですか？

A 私が児童養護施設や児童心理治療施設で働いていたときに虐待を受けていた子どもの声を聞くなかで、子どもは「もっと早く自分の置かれている家庭環境が周りとは極端に違うということに気付きたかった。助けて欲しかった。」と話していました。僕は本人が虐待と認識するためには、大人や友達に安心してSOSを出し、適切な相談機関等を“教えてもらう仕組み”が必要であると感じました。2022年に、当事者の声を聞くために、SNSで年齢を問わず当事者にアンケートを実施しました。「虐待を受けていた自覚があったか」、「今でも困っていること」、「当時してほしかったこと」等を質問し、2,000人から回答があった中で「つらかった時に適切な相談機関等を教えて欲しかった」という声

が多数を占めていました。児童虐待をなくし、子ども本人が安心して過ごせる居場所づくりが今の社会に欠かせないと思い、この活動を始める志となりました。

法人化して行政・教育機関にお話を伺う中で「児童虐待予防教育」が大切だと感じました。

Q 児童虐待予防教育を進めることによって、どんなことが期待できますか？

A 児童虐待予防教育により虐待を受けている子どもが、自分自身への親のしつけ等を客観的に判断でき、子どもの人権侵害への自覚が芽生え、教員等が児童虐待 SOS のサインをいち早くキャッチできます。迅速な虐待対応・対処・児童のメンタルケア等、適切な相談機関等に繋げることが期待できます。また、幼少期に受けた虐待体験等が自分の子どもにも連鎖する「児童虐待の世代間連鎖」を予防することに繋がると考えています。



Q “自分の身を守る教育”への思いと、これからの Heart resQ の取り組みについて教えてください。

A “虐待”という言葉は、重く感じるため、保護者にプレッシャーを与えてしまうという意見がありました。そこで、当法人ではこのリスクケアについて試行錯誤を繰り返し、保護者も子どもも安心して受講していただけるカリキュラム構成と名称変更を検討しました。その結果、児童虐待予防教育を“自分の身を守る教育”とし、プログラム内容をイメージしやすいように「命を守る学習」、「子どもの権利を学ぼう」としました。小学校1年生～6年生までの児童の発達段階に応じた下記のカリキュラムを、教員・教育行政等の方々と協力しながら進めていきたいと考えています。

また、子どもに辛いことがあれば相談できる団体として、学校関係者と伴走して行きたいと思っています。

【参考】「命を守る学習」「子どもの権利を学ぼう」

- 1年生「わたしのいいところ、ともだちのいいところ」
- 2年生「たいせつなところとからだ」
- 3年生「私たちを守る40の子ども権利ってなに？」
- 4年生「心の中の心号機」
- 5年生「好きってどういう意味??」
- 6年生「家族って？」



小学校6年間教材として使うぬいぐるみ。中に教材(紙)が収納できるようになっており、いつでもそばにいることを表している。

● 読者へのメッセージ

虐待は目に見えない。

虐待を虐待だと理解できず、吐き出せない辛さを抱えて苦しんでいる。そんな子どもたちがこの国にもたくさんいます。今現在、発覚している年間の児童虐待件数は約20万件。把握されていないだけで、実際に虐待で苦しんでいる子達はもっと多いことでしょう。

「あの時、相談できる場所があったら」「頼れる人がいたら」目に見えない声が、数字には現れない悲しみが、行き場を失い溢れています。

「ちゃんと聞いてくれる?」「本当に受け止めてくれる?」子どもたちの、不安で消えそうな声に耳を傾け、手を差し伸べられる暖かい場所。

我々 Heart resQ はそんなハートプレイスを作り、広げていきます。



概況

地域において、誰もがその存在を大切にされ、社会とのつながりと周囲からの承認を実感するなかで主体的な参加を進めるとともに、地域共生社会の実現に向け、県社協が重点的に取り組む活動や事業を明らかにした「第7次活動推進計画（アクションプラン）」に基づき、令和5年度は、市町村社会福祉協議会等への支援の強化、生活困窮者等への総合相談・生活支援、福祉・介護人材の確保・育成・定着の取り組み、災害時の支援体制の充実など、「一人ひとりが大切にされ、ともに支え合うまちづくり」を目指して、市町村社会福祉協議会、福祉団体・福祉施設、福祉関係者と緊密な連携のもと、地域の実情に即した福祉活動の推進支援を積極的に展開しました。

【令和5年度の重点取り組み】

1 誰もが参加の機会と役割のある支え合う地域づくりの推進

①支え合う福祉コミュニティづくりの推進

◎こどもが安心できる居場所である「こども食堂」への支援を拡充するとともに、民間助成金を活用した助成事業の展開により、子育て世帯の孤立を防止し、こどもの未来を応援しました。

【主な取組内容】

- 奈良こども食堂サポート事業
- こども食堂助成金による活動支援
(森田記念福祉財団協賛)



こども食堂紹介動画
<https://kodomonara.com/pages/115/>



②ボランティア活動の支援強化

◎県内で活動する小地域福祉活動の実践発表や関係団体等との交流の機会を設け、相互の情報交換や活動事例の普及を行うことを目的に「なら小地域福祉活動サミット」を開催しました。

【主な取組内容】

- なら小地域福祉活動サミット2023
ならボランティア研究集会
- 災害ボランティアセンター運営実務者研修
災害ボランティアセンター設置・避難訓練



なら小地域福祉活動サミット2023



災害ボランティアセンター設置・運営訓練

2 暮らしのセーフティネットとしての総合相談・生活支援活動の推進

①生活困窮者自立支援対策の充実

◎生活困窮や社会的孤立を抱えた人々への包括的な総合相談・生活支援活動を展開しました。また、地域型の子どもの居場所づくり・学習支援活動を展開するとともに、困難を抱える子どもや世帯のニーズをつかみ、個別訪問による学習支援や保護者の教育相談等を行いました。

【主な取組内容】

- 奈良県中和・吉野生活自立サポートセンターの受託運営
- 日常生活自立支援講座、社会生活自立支援講座、就労自立支援講座、自治体別職場見学会等
- 地域型居場所づくり・学習支援活動、訪問支援
- 生活福祉資金貸付事業
貸付相談 884件
償還相談 223件
貸付実績 389件 82,671,000円
- フードレスキュー事業

②地域における権利擁護のシステムづくりと資源開発

◎判断能力が不十分な状態にあり、日常生活に不安のある認知症高齢者や障害のある者に対して、市町村社協と連携して福祉サービス利用援助事業を実施しました。また、身近な地域で安心して成年後見制度が利用できるよう、支援機関・専門職等に対する相談支援、基盤整備及び普及啓発活動を行いました。

【主な取組内容】

- 日常生活自立支援事業、担当職員研修・事例検討会・生活支援員養成研修等
- 成年後見制度に関するアンケート調査、福祉後見推進フォーラム

3

地域の生活課題に対応する新たな活動やしくみの開発

①多様な団体との協議の場づくり

- ◎地域共生社会の実現に向けた協働の基盤として、福祉の枠を超えた多様な団体と自由に意見交換ができる場を設置し、地域課題やニーズの共有を図りました。

【主な取組内容】

- 権利擁護実践の促進に向けたミーティング
- 県社協の役割充実にに向けた検討事業における関係者ヒアリング

4

地域生活を支える専門性の高い福祉サービスの充実と人材の育成・定着支援

- ◎福祉&保育のおしごとフェアの開催や職場体験等による福祉人材の確保、キャリアパス研修等による福祉人材の育成、情報誌・動画の配信による啓発等、福祉・介護人材の確保・育成・定着支援に取り組みました。

【主な取組内容】

- 無料職業紹介事業、福祉&保育のお仕事フェア
- 福祉・介護人材確保・定着総合推進事業
 - ・福祉のお仕事魅力発見セミナー
 - ・福祉・介護の職場WEB中継ツアー
 - ・体験プログラム
- 介護従事者確保事業
 - ・情報誌「福祉のお仕事ジャーナル」
 - ・介護の魅力を伝える動画の配信
 - ・かいご「再就職」応援セミナー



介護の魅力を伝える動画
<https://nara-shakyo.jp/pages/99/>



- 介護福祉士等修学資金貸付事業
 - ・介護福祉士等修学資金貸付 126件
117,003,560円
 - ・再就職準備金貸付 7件
2,731,000円
 - ・実務者研修の受講費用貸付 64件
9,118,000円

- 保育士人材バンク運営事業
 - ・求職相談、事業所訪問、養成校訪問、事業広報
 - ・保育の合同就職説明会
- 保育士修学資金貸付等事業
 - ・保育士修学資金貸付 44件
33,600,000円
 - ・保育士再就職準備金貸付 1件
263,000円
- シニア世代の介護のお仕事入門事業



シニア世代の介護のお仕事入門事業

- 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程
 - ・初任者コース、中堅職員コース、チームリーダーコース、管理職員コース
- 人材育成・定着支援研修
 - ・OJT担当者研修
 - ・ストレスマネジメント研修
- スキルアップ研修
 - ・福祉サービスマナー研修
 - ・対人援助コミュニケーション力向上研修
 - ・利用者理解力向上研修
 - ・アンガーマネジメント研修
- 福祉・介護特定業務従事者研修
 - ・行動援護従業者養成研修
 - ・生活支援体制整備推進研修
- 介護支援専門員養成関連研修
 - ・実務研修受講試験、実務研修、更新（専門）研修、再研修、ケアマネジメント習熟研修

5

県社協の組織・経営基盤の充実・強化

①県社協の組織・経営基盤の充実・強化

- ◎人材の育成と組織の成長を図るため、目標管理制度を試行的に導入しました。また、発災時の迅速な初動対応を図る訓練や、職員採用プロジェクトチームによる採用活動を展開しました。

【主な取組内容】

- 県社協災害対応訓練
- 職員採用プロジェクトチームの編成

第8次「活動推進計画」を策定しました

※計画全文は、
本会ホームページに掲載しています。
<https://nara-shakyo.jp/pages/52/>



この計画は、「地域共生社会の実現」に向けて、地域福祉が着実に推進されるよう、県社協の社会的使命と責任を果たしていくための計画として、令和6年度から令和8年度の3か年間で特に重点的に推進する活動・事業を中心に整理し、策定しました。社会情勢の変化等に柔軟に対応できるよう、毎年次それぞれの進捗状況の確認と事業の見直しを行い、着実な実行を図ります。

計画策定の基本方針

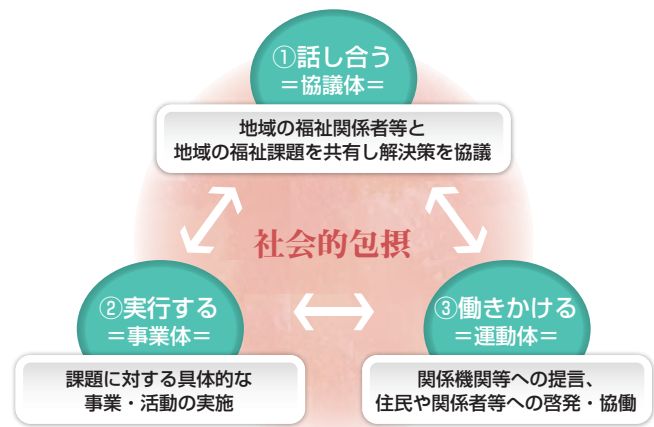
社会福祉協議会は、3つの機能①話し合う(協議体)、②実行する(事業体)、③働きかける(運動体)をバランスよく発揮することで地域福祉を推進していますが、近年は、②の事業体としての側面が強くなっています。

こういった状況を踏まえ、第5次計画からは特に①の協議体機能の強化に取り組み、地域のネットワークを活かして、様々な地域課題に対する協議の場づくりを進めてきました。また、前計画の第7次計画では、③の運動体機能を強化し、多様な主体との協議の場から、具体的な活動や仕組みを生み出していく機能を充実してきました。

今回の第8次計画では、第7次計画を継承しながら、福祉の領域を超えた多様な領域の主体との協働により③の運動体機能をより拡充していくことを目指しています。

また、基本的な方針として、「社会的包摂」を中心的な価値と位置づけ、全ての事業・活動がそこへつながっていくよう取り組むこと、そのために、「住民主体」の考え方を基本とする民間団体として、多様な主体との協働を促進しながら、次代につながる豊かな地域福祉実践を共に創っていくことを目指します。

取組の基本方針



第8次活動推進計画の概要

目標とする地域像

「一人ひとりが大切にされ ともに支え合う まち」

3年間の「活動目標」

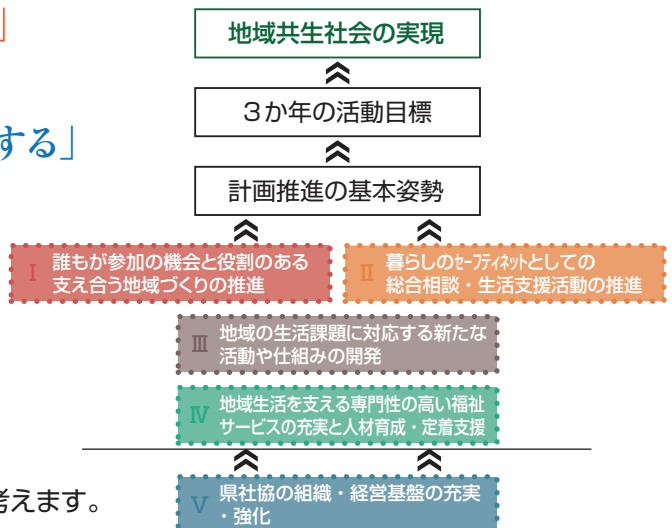
「次代につながる豊かな地域福祉実践を共創する」

不安定な社会情勢や孤独・孤立の問題が深刻化するなか、「つながり、支え合う」ことや、「多様性を認め合い、一人ひとりが大切にされる」社会の実現が求められています。奈良県社協は、「住民主体」の考え方を基本とする民間団体として、多様な主体との協働を促進しながら、次代につながる豊かな地域福祉実践を共に創っていきます。

計画に取り組む上での「基本姿勢」

- I. 「社会の変化を読み解き」、常に先にある社会的な課題を考えます。
- II. 多様な実践者とともに、「地域福祉の新しい協働の波」を起こします。
- III. 民間としての機動力を発揮し、「柔軟でタイムリーな」活動を展開します。
- IV. 県行政との信頼関係を基盤に、「市町村の地域福祉施策への支援」に力を注ぎます。

重点活動方針 展開の構図



誰もが参加の機会と役割のある支え合う地域づくりの推進

I

県社協は、誰もが参加の機会や役割を持って暮らしていくことのできる「住民が主役の地域づくり」を推進します。

また、暮らしにくさを抱えた人が包摂される地域社会の実現に向けて、福祉理解を広げ、多様な地域活動支援を進めていきます。

さらに、多様な主体と連携・協働して、災害にも強いまちづくりに取り組みます。

1. 支え合う福祉コミュニティづくりの推進
2. 「ふくし」理解の広がり と住民参加の促進
3. 共生のまちづくりにつながる地域福祉推進体制の充実
4. 災害時にも対応できる仕組みの充実

暮らしのセーフティネットとしての総合相談・生活支援活動の推進

II

県社協は、生活困窮や社会的孤立など、制度の狭間に陥りやすい方々を受けとめる包括的相談体制の整備と地域生活支援の充実に取り組みます。

1. 包括的な相談支援と地域生活支援の充実
2. 地域における権利擁護のシステムづくりと資源開発

地域の生活課題に対応する新たな活動や仕組みの開発

III

県社協は、県域の関係団体や多様な主体とのネットワークを広げ、県内の地域課題等に対応する新たな仕組みの開発等につなげます。

1. 地域課題やニーズの集約と多様な協働のテーブルづくり
2. 新たな協働の創造と実践

地域生活を支える専門性の高い福祉サービスの充実と人材育成・定着支援

IV

県社協は、人口減少・少子高齢化に伴う複合化・複雑化した課題に対応したサービスを提供できる次世代の人材を育成し、定着を進めます。

また、社会福祉法人が、多様な組織・関係者と連携・協働を図り、地域におけるネットワークの中心となって活動を展開する役割や機能のさらなる充実に向けて支援します。

1. 安心で質の高いサービス提供につながる人材の確保
2. 次代を担う人材の育成とキャリア形成・定着支援
3. 社会福祉法人(社会福祉施設等)への支援の充実

県社協の組織・経営基盤の充実・強化

V

県社協は、法人の使命や目標を達成するため、経営基盤と業務執行体制の充実強化に取り組みます。

1. 経営基盤の充実強化と事務局機能の強化
2. 県社協の将来に向けた人材の育成と組織体制の強化
3. 安定した財源確保の取り組み強化と活用



「あなたの街で就職フェア」を開催します！

これからますます需要が高まる福祉と保育の仕事。未経験、無資格でも大歓迎！是非お住まいの地域に貢献できる福祉・保育の仕事に挑戦しませんか？福祉人材センター&保育人材バンクでは未来のお仕事探しを応援します！

地域別福祉の就職フェア IN 大和郡山

日時 令和6年 第1回 7月6日(土)
第2回 7月7日(日)

会場 **イオンモール大和郡山** 2階 イオンホール
11:00 ~ 16:00

お申込み・詳細はコチラ！

就活応援イベント同時開催

就活に役立つ「パーソナルカラー診断」 7/6
「福祉の業界研究セミナー」 7/7



子育ての仕事就職フェア IN 橿原

日時 令和6年 8月31日(土)

会場 **イオンモール橿原** 3階 イオンホール
11:00 ~ 16:00

お申込み・詳細はコチラ！

無資格・未経験の方でも大歓迎！
お待ちしております。



ご来場ありがとうございました！

3/3福祉&保育の就職フェア報告!!

県内最大級の就職フェア「福祉&保育のおしごとフェア」を令和6年3月3日に行いました。今年は、保育分野との合同で開催し、160人にご参加いただきました！

また、フェアの企画として、「プレゼンテーションタイム」を実施し、大いに盛り上がりました。来年も3月に開催予定ですので、是非ご来場をお待ちしております！



20代 求職者

知識も内容も分からず参加しましたが、各施設の方が丁寧に教えてくださりとても参考になりました。

対面式のフェアは求職者の方の不安な面も取りのぞけるので、積極的に参加したいです。



採用担当者



当日の様子

現在募集中の研修

あなたのキャリアアップを 応援します！



福祉人材センターでは、利用者の立場にたった質の高いサービスが提供されるよう、社会福祉事業従事者等を対象とした各種の研修を体系的に実施しています。詳しくは、[本会ホームページ](#)をご覧ください。下記までお問合せください。

★現在募集中の研修

研修名	研修日程	日数	受講料	対象者	申込み切
キャリアパス対応生涯研修課程 / 中堅職員コース	9月12日(木) 9月13日(金) 9月25日(水)	3日間	10,000円	・担当業務の独力遂行が可能なレベルの職員 (入職後概ね3~5年程度の節目の職員) ・現にユニットリーダー等に就いている職員	7/16(火)
OJT 担当者実践研修	9月19日(木) 12月12日(木)	2日間	10,000円	OJTの経験年数が概ね3年以上の職員、 昨年度、本年度のOJT担当者基礎研修修了者	8/16(金)
アンガーマネジメント基礎研修	9月26日(木)	1日間	7,200円 (診断料込)	県内社会福祉施設・事業所等の職員	8/16(金)

★8月上旬に募集開始予定の研修(最新情報はホームページにてお知らせします)

- 対人援助コミュニケーション力向上研修
- 傾聴からはじまるストレングス発見研修
- アンガーマネジメント実践研修
- 管理職員向け組織マネジメント研修(仮)

詳しい内容や最新情報は
ホームページからチェック!



お問合せ先

社会福祉法人奈良県社会福祉協議会 福祉人材センター

〒634-0061 奈良県橿原市大久保町 320-11 TEL: 0744-29-0130

●就職に関するお問い合わせ ホームページ <https://nara-shakyo.jp/>
work@nara-shakyo.jp 福祉の仕事・研修>福祉の仕事>人材センターイベント情報

●研修に関するお問い合わせ
kenshu@nara-shakyo.jp 福祉の仕事・研修>福祉の研修>福祉職員向け研修

★福祉人材センターでは介護支援専門員更新研修を実施しています。

介護支援専門員の実務をされている方は、有効期間満了日にご注意ください。

有効期間満了日までに更新研修の受講が必要です。

詳細はお電話にてお問い合わせください。

(更新研修に関すること>>福祉人材センター 0744-26-0225)

(登録変更や手続きに関すること>>奈良県介護保険課 0742-27-8556)

詳しい内容や最新情報は
ホームページからチェック!



奈良県運営適正化委員会「選考委員会」委員の任期満了に伴う

次期選考委員候補者の公示について

奈良県運営適正化委員会の委員を選考するために、社会福祉法施行規則第20条の規定に基づき次期選考委員候補者をここに公示します。

つきましては、選考委員会委員の選任についてご意見のある方は、下記の期日までに所定の意見書を提出頂きますようお願い致します。

社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会 会長 山下 真

①委員候補者(敬称略)

分野	所属	役職・学識	氏名
1 公益代表	奈良学園大学	准教授	岡野 聡子
2 公益代表	奈良県民生児童委員連合会	会長	東 幸次郎
3 公益代表	奈良県社会福祉士会	会長	西田 利昭
4 利用者代表	奈良県手をつなぐ育成会	理事長	住本 友成
5 利用者代表	認知症の人と家族の会奈良県支部	副代表	正楽 忠司
6 利用者代表	奈良県精神障害者家族会連合会	理事	森本 芳臣
7 経営者代表	奈良県社会福祉法人経営者協議会	副会長	栗木 裕幸
8 経営者代表	奈良県社会福祉法人経営者協議会	副会長	岡田 悟
9 経営者代表	奈良県社会福祉法人経営者協議会	理事	植田 誠

②選考委員会委員の任期

令和6年9月22日~令和8年9月21日

③本件の公示期限

令和6年8月1日(木)~8月13日(火)

④意見書の配布及び提出先

奈良県社会福祉協議会

⑤意見書の提出期限

令和6年8月1日(木)~8月13日(火)

⑥本件に関するお問い合わせ先

社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会

地域福祉課 住民福祉活動振興係

〒634-0061 橿原市大久保町 320-11

TEL 0744-29-0100

FAX 0744-29-0101



じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

情報

令和5年度募金実績額 151,105,111円

ご協力ありがとうございました。

★共同募金の使いみち



広域助成 (NHK歳末たすけあい助成を含む)

○主に全県のまたは複数の市町村域にまたがって行われる地域福祉事業への支援



テーマ型募金奈良県ぴ～すぺ～すプロジェクトへの助成

○奈良県共同募金会と協働して、自ら募金活動を行い、地域課題解決に向けた活動を行う団体への助成



地域助成

○市町村社協による地域福祉活動及び福祉関係団体への支援



地域歳末たすけあい助成

○歳末たすけあい活動への支援



災害等準備金積立



運動推進費

★令和5年度は総額約1億4,170万円を助成金として配分しました

- 住民全般 … ボランティア活動、まちづくり推進、広報誌等 5,900万円
- 高齢者 … 高齢者の生活支援、いきいきサロン、認知症カフェ等 2,494万円
- 障害児・障害者 … 障害者の自立・就労支援、交流会等 2,403万円
- 児童・青少年 … 子育て支援、ひとり親家庭への支援、こども食堂等 1,711万円
- 課題を抱える人 … 低所得者・要保護世帯への支援、更生保護活動等 1,164万円
- 災害発生時の支援 … 災害等準備金として積立 493万円



上記のうち、県内広域的な活動に対する助成

- 各種啓発、講演、研修等の事業や全国大会等 1,350万円
- 施設の増改築・改修・修繕や設備・備品購入 240万円
- 車両の購入 647万円
- ポスト・コロナ下の福祉活動 323万円
- 社会的養護の子ども達への遊具・備品購入 350万円
- 生活困窮者への緊急支援活動 338万円
- 誰もが安心して暮らせる居場所づくり 122万円
- 国立療養所長期療養者へのお見舞品、社会福祉施設等への物品助成 11万円



テーマ型募金 奈良県ぴ～すぺ～す [peace (安心)+space (空間)] プロジェクト参加団体受付中!

共同募金のしくみ(広報面・税制面)を活用し、参加団体自らが集めた寄付金が団体の活動費となります。募金活動をしながら、県民の皆様に分たちの活動への協力を呼びかけることができるプロジェクトです。

【対象】 地域課題を解決するために活動している団体(社会福祉法人・NPO法人含む)

【受付期間】 令和6年7月1日(月)～7月31日(水)

【日時】 令和6年7月12日(金) 午後2時～午後3時

説明会実施

【場所】 奈良県社会福祉総合センター5階 研修室A

【参加方法】 ホームページより参加申込書をダウンロードし、7月5日までにお申し込みください

◆奈良県共同募金会公式インスタグラム始めました。

共同募金の「使いみち」や「助成情報」、「イベント」等毎週発信しています。ぜひ、ご覧ください。

https://www.instagram.com/akaihane_nara/



社会福祉法人
奈良県共同募金会

〒634-0061 橿原市大久保町 320 番 11 奈良県社会福祉総合センター 4F
TEL: 0744-29-0173 FAX: 0744-29-0174
E-mail: info@nara-akaihane.com <https://www.nara-akaihane.com>

1月1日に発生した能登半島地震でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りし、被災された皆様方に心からお見舞い申し上げます。

被災地の災害ボランティアセンターの派遣職員は、ニーズの聞き取りや、現地調査、ボランティアへのオリエンテーション、活動とのマッチングなどを担っています。

本会では、引き続き能登半島地震被災地への職員派遣活動を行っていきます。

1. 七尾市社会福祉協議会への派遣 [災害ボランティアセンターの運営支援]

近畿ブロックの社協職員とともに4月1日～6月2日まで七尾市社協が運営する災害ボランティアセンターに18名（奈良県内市町村社協12名・奈良県社協6名）を派遣しました。



2. 羽咋市社会福祉協議会への派遣 [災害ボランティアセンターの運営支援]

近畿ブロックの社協職員とともに1月25日～4月3日まで羽咋市社協が運営する災害ボランティアセンターに17名（奈良県内市町村社協12名・奈良県社協5名）を派遣しました。

3. 金沢市内（1.5次避難所・2次避難所）、七尾市社会福祉協議会への派遣

北海道・東北・近畿ブロックの道府県社協職員とともに1月25日～1月31日まで、被災し当座の生活費を必要とする世帯へ生活福祉資金（緊急小口資金等）の特例貸付の相談・受付業務に、奈良県社協職員1名を派遣しました。

4. 輪島市立鳳至小学校・大屋小学校・輪島中学校・石川県DWAT本部等への 奈良県災害派遣福祉チーム（奈良DWAT）派遣 [避難所巡回支援]

全国の都道府県DWATとともに3月8日～13日まで輪島市内の避難所に奈良県内福祉事業所職員4名・奈良県職員1名・奈良県社協1名を派遣し、福祉支援が必要な方々の福祉ニーズを把握し、より良い避難生活を送れるように相談業務等を行いました。



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和6年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
賠償責任の補償	特定感染症		補償開始日から補償 ^(*)		
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

*特定感染症についても10日間の免責期間がなく、補償開始日から補償対象となります。
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行幸用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土・祝日、年末年始を除きます。)

令和5年度 奈良県社会福祉協議会 賛助会員

多くの方々から地域福祉活動推進のための賛助会費を戴いています。
ご支援、ご協力ありがとうございます。

令和5年度 賛助いただいた方々(敬称略・五十音順)

- 株式会社アクティブエナジー
- 株式会社柿の葉すし本舗たなか
- 株式会社寺田ポンプ製作所
- 株式会社トイント
- 株式会社ナカガワ
- 株式会社南都銀行神宮前支店
- 株式会社ニトリ 法人&リフォーム事業部 堺
- 株式会社ヤナギビジネス
- 川端運輸株式会社
- 河村繊維株式会社
- 関西電力株式会社 奈良支社
- コニカミノルタ QOL ソリューションズ株式会社
- 合資会社 健やか
- 小山株式会社
- 佐藤物産株式会社
- 佐藤薬品工業株式会社
- 三和澱粉工業株式会社
- 全国共済農業協同組合連合会奈良県本部
- SOCIUS VALUE 株式会社
- 大和ガス株式会社
- 大和ハウス工業株式会社奈良支社
- 高橋 清治
- 東洋羽毛関西販売株式会社
- 奈良県生活協同組合連合会
- 奈良県年金受給者協会
- 奈良中央信用金庫
- 松塚建設株式会社
- 松田電気工業株式会社
- 三笠産業株式会社
- 大和信用金庫



ご寄付・ご寄贈

ありがとうございました。

地域福祉・ボランティア活動振興のため、奈良県中央善意銀行へご寄付をいただきました。
(令和6年2月16日～令和6年5月15日受付順、敬称略)

金銭預託

- 株式会社OBS
- 全国共済農業協同組合連合会 奈良県本部
- 株式会社吉田稔商店
- 近畿労働金庫奈良地区本部
- 株式会社ジェイテクト
- 明日香運送株式会社
- 富国生命保険相互会社 奈良支社
- アミバラ橿原店
- 奈良市ポイント運営事務局
- 株式会社ホンダネット京奈



近畿労働金庫奈良地区本部
寄付金贈呈式



株式会社ジェイテクト
寄付金贈呈式



富国生命保険相互会社 奈良支社
寄付金贈呈式

物品預託

- 株式会社やまと蜂蜜

株式会社やまと蜂蜜
物品贈呈式



奈良県中央善意銀行の寄付金は以下の活動に使わせていただいております。

- 地域福祉活動への助成
- 奈良子ども食堂ネットワーク
- 県内の交通遺児への取り組み
- フードレスキュー事業 等

奈良県中央善意銀行
寄付に関する
お問い合わせ・受付窓口

奈良県社会福祉協議会 総合ボランティアセンター
福祉教育・ボランティア活動係
(奈良県社会福祉総合センター内)

〒634-0061 橿原市大久保町320-11
TEL: 0744-29-0155
FAX: 0744-26-0234

予告



奈良県社会福祉協議会 正規職員を募集します!!

本会では、令和7(2025)年4月採用【正規職員】の採用試験を実施します。
詳細が決まり次第、本会ホームページでご案内いたします。

お問合せ：社会福祉法人奈良県社会福祉協議会 総務企画課 TEL:0744-29-0100 FAX:0744-29-0101

福祉に熱い想いを持った、
あなたのご応募を
お待ちしております